

くらし・はたらく・けんり  
あなたの「あんしん」を私たちがサポートします



# 東サポだより



●2025年度アールブリュット作品展応募作品 ●新役員のご紹介 ●社員・支部長からひとこと ●「生活サポート総合補償制度」あんなことやこんなこと ●2025年度定時社員総会・第1回研修会報告 ●役員リレー・こらむ（特別編） ●2024年度4団体共催研修会報告・2025年度予告 ●2026年度制度会員継続のご案内について

## 2025年度アールブリュット作品展 応募作品



「長崎の小学校の給食」  
島田久美さん

「春」  
石川恵子さん



「つくば夜スマイル」  
端井哲平さん

「さかな」  
鈴鹿明日香さん

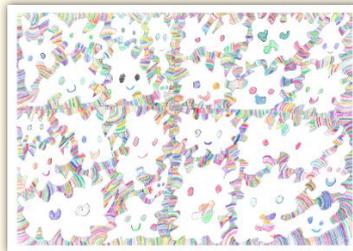


「庭のベンチ」  
わかばの家・絵画クラブさん



「空へ」田村昌彦さん

「自分のひまの時間」  
羽鳥洋剛さん



2026年度アールブリュット作品展のご案内は、東サポホームページに掲載いたします。  
皆さまのご応募をお待ちしております！



### 新役員のご紹介

副理事長 小池 朗



このたび、副理事長という大役を務めさせていただくこととなりました、社会福祉法人嬉泉 板橋区立赤塚福祉園の小池です。私は4年前に理事に就任し、東京都知的障害児者生活サポート協会の活動に参加してまいりました。それ以前から協会の存在は知っていましたが、実際に関わることで活動の幅広さに深く敬服するとともに、理事としての責任の重さを痛感しております。当協会は「生活サポート総合補償制度」の運営を担う団体ですが、それにとどまらず、障害のある方々とそのご家族に向けた相談支援事業を幅広く展開しています。

病気や事故、賠償責任などに備える補償制度は安心の基盤ですが、さらに日常生活や就労、権利擁護に関わる支援を行うことは、まさに「生活サポート」という名称にふさわしいものです。また、成年後見制度に関する研修会や制度改善への要望活動は、障害のある方々の権利を守り、生活の安定に直結する重要な取り組みです。こうした活動を通じて、当協会の理念である「知的障害児者及び発達障害児者とその家族の生活の安定と福祉の増進に寄与する」が具体的に実現されていることを強く感じております。また、複雑な制度や仕組みも、誰もが理解できるように分かりやすく伝えることを大切にしており、それが安心と信頼につながるものだと考えています。今後も当協会の理念を忘れず、障害のある方々の「くらし」「はたらく」「けんり」を守るため、皆様と共に力を合わせて活動してまいりたいと思います。

**理事 藪田 史郎**

皆様こんにちは。

この度、東京都知的障害児者生活サポート協会の理事に就任いたしました藪田史郎と申します。私の次男坊が大利根旭出福祉園 グループホームさきがけの家にお世話になっております。その保護者会の役員及び会長として永らく務めさせていただいておりますが「井の中の蛙」的な存在でした。高齢且つ新人ではありますが、協会の為に微力ながら貢献したいと考えますので皆様の絶大なるご理解とご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。



安心をカタチにし、豊かな暮らしを支える仕組みづくりを

**理事 金澤 正義**

このたび、本協会の理事を拝命いたしました金澤と申します。これまで本協会には、私が役員を仰せつかっている東京都社会福祉協議会知的発達障害部会や東京都障害者通所活動施設職員研修会とのイベント共催や共同事業を通じて大変お世話になってきました。そのことに改めて感謝申し上げますとともに、今後は本協会の発展のために微力ながら努めてまいります。

私は常々、売り手（事業者・職員）よし、買い手（利用者・家族）よし、世間（地域社会）よしの「三方よし」の福祉が求められていると考えています。本協会が推進している生活サポート総合補償制度はまさにその3者を通底する大切な仕組みであり、地域生活を送る当事者の皆さんやそのご家族にとっても、日々支援サービスを提供する私たちにとっても、安心と安全を持続するための大切な基盤の一角を担うものだと考えています。

世代を問わず、入り口での既往症の有無が問われずに加わり、補償においても同様、万が一の事故や賠償案件にも柔軟に対応できる保険があること、そしてそのユーザーが増えることで補償制度の安定につながることは、障害のある人たちの日々の安心と豊かな暮らしを支えるためにとても重要です。更に多くの方にご加入ご活用いただける制度となるよう頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。

**監事 中山 正行**

このたび、ご縁がありまして東京都知的障害児者生活サポート協会の監事に就任させていただくことになりました、社会福祉法人正夢の会の中山と申します。どうぞよろしく願いいたします。

私には中学生と小学生の息子がおりまして、これまでにケガや病気をした際に補償制度に支えられたことが何度かありました。そのたびに仕組みがあることの心強さと、それを支えてくださる方々の存在の大きさを実感してきました。障害のある方やそのご家族にとって、ケガや病気、事故など、もしもの出来事は、私以上に大きな不安と心配を伴うことと思います。そのようなときに安心を支える仕組みがあることは、とても大きな意味を持つのではないかと感じています。そうした思いもあり、今回この会に関わらせていただけることを大変うれしく、また身の引き締まる思いであります。障害のある方やそのご家族一人ひとりの暮らしに寄り添い、日常の安心を支えることは、とても意義のある活動だと感じております。監事という立場ではございますが、皆さまの活動を見守り、ときに一緒に考え、より良い形で力を発揮できるようお手伝いしていきたいと思っております。まずは不勉強である補償制度についてしっかりと勉強し、この活動の意義や背景をきちんと理解していきたいと思っております。

まだまだ諸先輩方に比べて未熟な点も多いですが、皆さまとのつながりを大切に、一緒に学びながら歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



社員・支部長からひとこと



**杉浦章一（すぎうらしょういち）様 社会福祉法人コロロ学舎 瑞学園 園長**

瑞学園（みずきがくえん）は、自閉症・行動障害タイプの方々を多くお受けしています。日中は約130名あまりの方々が活動されています。「人は集団の中で生きていく」「個別のニーズを満たす集団支援」の視点で、集団歩行、ダイナミックリズム、パネル封入作業など、目と手を目的的に使った活動を通して療育支援に取り組んでいます。みんなと一緒に歩いたり、輪になってリズムをしたり、人（ひと）という集団をうまく活かして「見れば分かる」生活環境に配慮しています。そうした療育支援が生活の中に溶かし込まれ、利用者さんの穏やかな生活が醸し出されるよう、日々、取り組んでいます。そうして利用者さんの生涯にわたっての発達・成長を目指しています。

一方で行動障害の強い利用者さんが、他の方々とトラブルなく生活できるか、ご不安なご家族もいらっしゃるかと思います。その点で、生活サポート総合補償制度は利用者さん・ご家族にとって大きな安心につながっています。ですので、瑞学園では家族会などの場で推奨させていただいています。実際に保険をご利用され、心強かったという声も伺っていますので、ご対応には本当に有難く思っております。今後もサポートいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



集団歩行のようす



ダイナミックリズム



**高樋浩史（たかといひろし）様 社会福祉法人滝乃川学園 保護者会会長**

古い歴史を持つ滝乃川学園に姉が入所したのは幼少の頃でした。そのいきさつは両親からは聞いておりませんでした。ご縁がありこのように長くお世話になることになりました。今年73歳になった姉は担当職員さんたちに代々引き継がれてお世話いただき、今も穏やかに生活しています。私の親も役員をしていた関係で3年前から保護者会会長を引き受けおります。滝乃川学園の入所利用者は、グループホーム合わせて170人前後いらっしゃいますが、隔月開催の保護者会には参加者が少なく、ちょっと寂しいですが継続して定期総会開催や学園のイベントのお手伝い等の活動は続けてまいります。10月には地域交流の一環である学園主催の「ものの市」に保護者会として協力し、受付の脇で来場者にポップコーンと綿菓子を作って提供いたしました。保護者同士の交流、親睦がはかれて楽しいひと時を過ごしました。

7月の定期総会には（株）JICの方々にご出席をいただき「生活サポート総合補償制度」のリニューアルの詳しい説明を受けました。安心して生活・活動ができるよう補償制度に期待いたします。

今後ともよろしくお願いいたします。



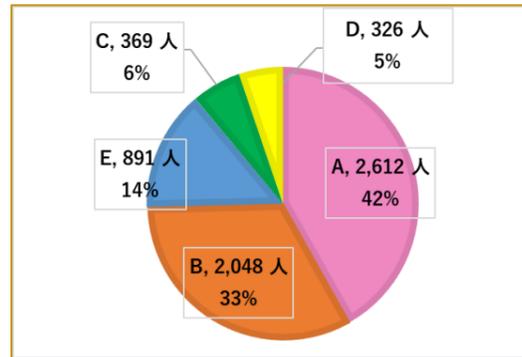
滝乃川学園

# 生活サポート総合補償制度の あんなことやこんなこと

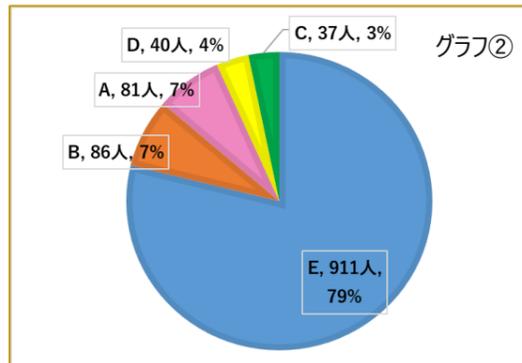
東サポのご加入状況・生活サポート総合補償制度のご利用状況、また今年度からスタートした「施設等管理下財物復旧費用」や、お問合せを多くいただいている「弁護士費用等補償」・「職業従事者事故対応費用補償」については、全国での事例を挙げてご紹介します。

## 加入状況

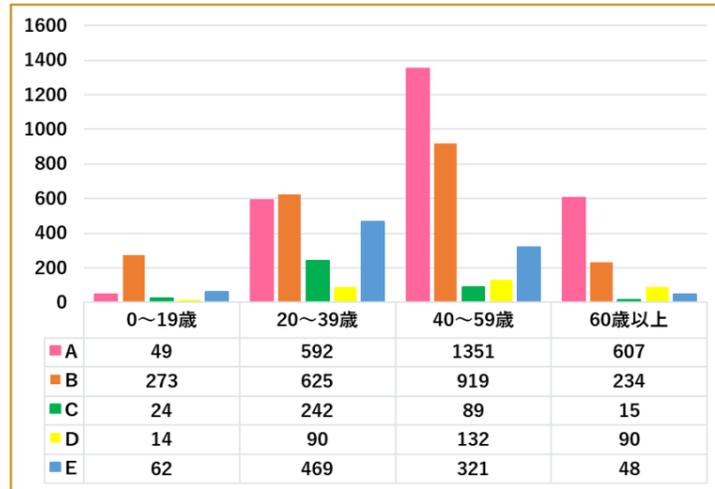
プラン別加入者数 グラフ①



2025年度新規加入者数（プラン別）



年齢・プラン別加入者数 グラフ④



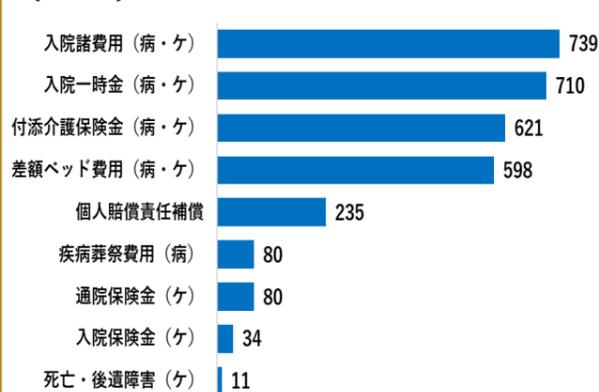
加入者数は全国では 170,459 人、そのうち東サポは 6,246 人（グラフ①）となっています。2020 年から始まったコロナ禍により新規加入者数は激減していましたが、今年度は 11 月現在、1,155 人となり、毎月ご加入をいただいております（グラフ②）。

理由としては、補償内容及び掛金の違う 2 つのプランが加わったこと、また加入の対象として発達障害者が追加され、広範囲の事業所にご案内ができたことが挙げられます。

加入プランでは「A」、続いて「B」と〔入院給付金〕のついたプランの人气が高く、これは昨年度の請求件数からも伺えます（グラフ③）。今年度からスタートした E プランは、〔入院給付金〕はセットされておらず〔ケガの入通院・個人賠償補償〕となりますが、掛金が安く好評です。また、若年層ほど B プランの割合が大きくなっています（グラフ④）。

＜ご継続ハガキでのプラン変更について＞  
プラン A・C・D・E から「B」へは、4 月 1 日現在 64 歳以下の方はご変更が可能です。また、現在「B」プランにご加入の方は 65 歳をすぎても「B」プランのままご継続いただけます。

補償項目ごと請求件数 グラフ③



## 施設等管理下財物復旧費用（全プラン）

今年度より始まった補償ですが、7 月時点では全国の個人賠償請求のうち、約 4 割がこちらを利用しています。この間いただいた施設側、保護者側からのご意見です。

〔施設〕

- \* 保険請求に関して「誰の責任か」揉めにくくなり、正直助かる。
- \* 身寄りのない方が加入できるようになったので施設としても受け入れに安心感が持てるようになった
- \* 補償の限度額が 50 万円はちょっと少ない
- \* 最近、請求してから支払いが遅くないですか？

〔保護者〕

- \* 他の保険にも加入しているが、個人賠償の請求について何かと理由をつけて出してくれない場合が多くなっている。その点、生サポは『支払われる安心感』を感じられる。
- \* 保険金請求書類の免責証書が不要になったので請求しやすくなった。
- \* 施設での説明会で詳しく代理店さんから教えてもらうことができた。子どものことをとても真剣に考えてくれていると感じ任せたいと思った。

## ■ ご請求事例（全国の状況より抜粋）

### 弁護士費用等補償（B・Cプラン）

#### ＜損害賠償請求費用・法律相談費用＞

- \* 自転車（本人）vs 車の事故
- \* 事業所を飛び出しトラックに跳ねられた
- \* クレジットカードの不正利用被害にて犯人が捕まり賠償請求
- \* 勤め先でセクハラが横行し精神疾患を負わされた
- \* 他の利用者に押され大腿骨骨折、後遺障害
- \* 施設の車のドアに指を挟み第一関節先切断
- \* 女性 GH 利用者に対する性的虐待（含職員）
- \* パンをのどに詰まらせ、寝たきり状態後、死亡

#### ＜弁護士接見費用＞

- \* 女性職員に抱きつき暴行→勾留
- \* 事業所への通所途中に車を日常的に傷つける
- \* 電車内で痴漢行為→勾留

### 職業従事者事故対応費用補償（Cプラン）

#### 【B型事業所での実習中】

- \* 他の利用者を固い物で殴りケガを負わせた治療費
- \* 電動のこぎりで作業中に他の利用者の指を負傷させてしまった治療費

#### 【インターンシップ中】

- \* 無理なタイミングでシャッターを下ろし破損させた修理費
- \* 清掃用具を高所から落とし破損させた修理費

#### 【その他】

- \* B 型事業所利用者が、他の利用者を押して顔面を負傷させた治療費
- \* 就労移行事業所利用者が実習中にノート PC を落とし、破損させた修理費

生活サポート総合補償制度（AIG 損害保険株式会社）は、障害者の特性を深く理解し作られており、国内最大のあらゆる補償データを活用したさまざまな特長がある制度です。例えば、「既往症」があっても告知なく加入ができる、どんなご入院でも補償が受けられる、第三者賠償事故は施設内外問わず補償されるなど、「暮らしの中の安心」を支えられる内容になっています。

また、加入者が増えることは補償の安定・継続につながります。東サポは、皆さまのご意見・ご要望を伺い「選ばれる補償」となるよう働きかけを行ってまいります。どうぞご協力くださいますようお願いいたします。

一般社団法人全国生活サポート協会  
【会員向けサービス】のご案内  
税金・法律・年金、労働問題など  
専門の先生方による電話での相談を受け付けております。詳しくは QR コードからご確認ください。⇒⇒⇒

補償内容についてのご質問は、  
AIG 損害保険株式会社代理店  
株式会社ジェイアイシー  
(☎ 03-5321-3373) まで  
お問い合わせください。

2025年度定時社員総会 報告

第1部 定時社員総会

2025年度の定時社員総会は、6月13日(金)オープンバージョンフィールド多摩国分寺館セミナールーム1を会場に開催しました。社員総数37名のうち、出席は30名(書面表決を含む)となり、総会は成立、全ての議案をご承認いただきました。

2024年度収支計算書(2024.4.1~2025.3.31)

Table with financial data for 2024 fiscal year, including income and expense sections.

2025年度予算(2025.4.1~2026.3.31)

Table with financial data for 2025 fiscal year budget, including income and expense sections.

貸借対照表(2025.3.31現在)

(単位:円)

Balance Sheet table showing assets and liabilities as of 2025.3.31.

【保険料の部】

Table for insurance fees (2024 fiscal year).

【保険料の部】

Table for insurance fees (2025 budget).



総会のようなす

第2部 研修会『“2026年”成年後見制度はどう変わるのか』

講師 弁護士 根本雄司氏 << 弁護士法人港大さん橋法律事務所 >>

講師には、昨年度の研修会でもご講演いただきました、弁護士の根本雄司氏(日本弁護士連合会、高齢者障害者権利支援センター成年後見制度利用促進法対応PT座長)をお招きし、法制審議会での中間試案の概要を含めお話を伺いました。



研修会のようなす



根本弁護士による講演

◆参加者アンケートより

- List of feedback points from the survey, such as 'difficult to understand' and 'need more explanation'.

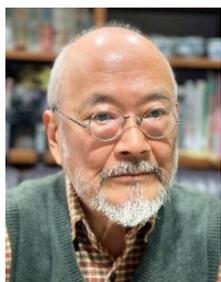
役員名簿

(任期:2025~26年度)

Table of board members (left side).

Table of board members (right side).

(敬称略)



## 今もなお 希望のうちに生きる

前理事長 加藤 正仁

(うめだ・あけぼの学園名誉園長)

現代に生きる我々の祖先であるホモ・サピエンスがこの地上に登場したのは約 20 万年から 30 万年前にアフリカで誕生し進化したとされている。我々の日々の暮らしの中での時間感覚からはイメージし難い天文学的な時間をかけ、数多の苦難を乗り越えながら安住の地を求めて未開の地に分け入って行った。人類はそうした途方もない時間と艱難辛苦を乗り越えて、それぞれに安住の地にたどり着けているのであろうか。そして、その間に人類が被ったであろう血塗られた受難からどれだけの学びと反省が今の今に生かされているのであろうか。個としても種としても過去の学びは未来に生かされてこそ意味がある。それなのに今人類は途方もない時間の経過の中で未だに……。

しかし、暗鬱とした思いの中で、刹那の喜びや癒しが確かにないわけではない。例えば、昨今の MLB での大谷翔平選手たちの活躍は、そんな我々の地上に重く垂れこめているメラコリックで、鬱々とした気分を刹那的ではあるが一掃する出来事であり、それに一喜一憂し、溜飲を下げた日々は未だ肌感覚的に残っている。また一方では同じこの地上の同じ時空間の中で、人間同士の悲惨で残虐を極めた殺戮、戦闘が一方的な大義名分と不条理の中で日常化している。

この地球上の悲喜交々でエゴイスティックなダングリング事態を我々はどうのよに受け止めながら日々を過ごせばいいのだろうか。あのマハトマ・ガンジーは「明日地球が破滅を迎えようとも、私はりんごの木を植え続ける！」と言ったという。ところが最近では「アメリカン・ファースト」とか我が国ではそれを真似た「日本・ファースト」というスローガンが跋扈している。このような近視眼的でエゴセントリックな社会ではなくて、「共に生きる」「分かち合う」「許し合う」「認め合う」「求め合う」人間感が共助・公助・自助の行動理念として遍く統べる中でしか人類が憧れているエデンの地にはたどり着けないのではないだろうか。

残念ながら現状はまだまだ道半ば、その前にこの地球という我々の住む惑星そのものがなくなってしまうようにと祈るばかりである。

May our days be Blessed !!



## 2024 年度 4 団体共催研修会 報告

日時：2025 年 2 月 11 日（火・建国記念の日）13：30～16：50

会場：三鷹産業プラザ 7F 703-705 会議室

内容：テーマ『安心して“暮らせる・託せる”居住支援とは』

\* 実践発表

\* 講演『これからの居住支援～国連の障害者権利条約の対日審査を受けて～』

講師 松崎 貴之氏

(厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活・発達障害者支援室虐待防止対策専門官/障害福祉専門官)

\* シンポジウム



当日は 109 名の方のご参加がありました。国連の障害者権利条約の対日審査を受け地域移行が大きなテーマとなる中、現状では居住支援の不足が全国的にも課題となっており、講師の松崎貴之氏より詳しくお話を伺いました。後半のシンポジウムでは、山下理事長がコーディネーターを務め、『安心して“暮らせる・託せる”居住支援とは何か』を多角的に考え、施設入所・グループホーム・家族・通所支援・相談支援と、それぞれ異なる立場から意見を発表していただきました。

参加された方からは、松崎専門官の講演では国として障害者の権利を守ろうと具体的な施策の方向性など分かりやすく説明された、シンポジウムでは現場の実情をもとにした多角的な議論が展開し勉強になった、との感想が寄せられ貴重な学びの場になりました。

予告

## 2025 年度 4 団体共催研修会 『これからの日本の知的障害者福祉 - 制度・地域・家族の未来図』

基調講演 「人口減少・高齢化社会における知的障害者福祉の未来戦略～障害者福祉のあり方検討や国の動向を語る～」  
講師 小澤 温氏（筑波大学名誉教授）

日時：2026 年 2 月 6 日（金）13：30～16：50（予定）

会場：三鷹産業プラザ 7F 703-705 会議室

対象：4 団体会員の皆さま・関係団体の皆さまなど

参加費：無料



申込フォームはこちら

\* 今年度は 10 回目の開催となる 4 団体共催研修会です。さまざまな課題についての支援者やご家族による発表を受け、パネルディスカッションをおこないます。施設関係者・ご家族・学生さんなど多くの方のご参加をお待ちしております。

### ● 「2026年度制度会員継続のご案内」 が送付されます ●

毎年2月に次年度のご継続に関する大切なお知らせをお送りしています。  
お手元に届きましたら必ず開封していただき、内容のご確認をお願いいたします。



**ご加入内容** 支部・施設名、ご加入者名、ご住所、電話番号、振替口座、プラン にご変更はありませんか？  
変更がある方は、用紙右側のハガキ部分を切り取り、現在登録されている加入者のご署名と変更する項目をご記入のうえ、2月末日までに投函してください。変更後の内容が『2026年度加入者証』に登録されます。  
期限までに手続きが間に合わない方、書き方がわからないなどお困りの事がありましたら、事務局までお問合せください。

**ご注意** ① [プランA・B・C・D] のいずれかから [プランE] へプラン変更をご希望の場合は、あらたに加入依頼書の記入が必要です。**ハガキでは変更できません**ので、期限内に事務局までご連絡をお願いいたします。  
[プランE] から [プランA・B・C・D] いずれかへのプラン変更はハガキでのお手続きが可能です。

② **後見人等代理人**によるお手続きは別途<ご案内事項>がございます。お手数ですが事前にご連絡をお願いします。

■東サポ事務局 ☎ 042-300-1366 (電話受付時間 平日 10:00~12:00/13:00~17:00)  
お問い合わせにはホームページのフォームもご利用になれます⇒



### 担当代理店 (株) ジェイアイシーからごあいさつ

平素より、会員および関係者の皆様には、ご愛顧を賜り心よりお礼を申し上げます。  
より「きめ細やかな対応」を目指し、(株)ジェイアイシーの東京担当を5名体制(2025年12月~)と致します。  
各施設様、保護者会等にて見かけられました際には、お気軽にお声がけいただけますと幸いです。  
今後とも何卒、宜しくお願い申し上げます。

ジェイアイシーが取り扱う補償制度について、4・5ページでもくわしくご説明しています。ぜひご覧ください！



鈴木憲太郎 座間隼翼  
會田祐哉 山口英倫 昆野将大

### 第19回東京大集会『くらしの場が選べる社会を目指して』

- 1 配信日 令和7(2025)年9月6日(土) 13:00~16:00
- 2 開催方法 YouTube ライブ
- 3 主催 東京大集会実行委員会  
 <実行委員会構成団体>  
 東京都社会福祉協議会知的発達障害部会、  
 東京都発達障害支援協会、東京都手をつなぐ育成会、  
 東京知的障害児・者入所施設保護者会連絡協議会、  
 東京都自閉症協会、日本ダウン症協会
- 4 共催 (一社)東京都知的障害児者生活サポート協会
- 5 後援 (公社)東京社会福祉士会



開会挨拶

6団体による  
アピール文



※東京大集会実行委員長 金澤 正義  
(東京都社会福祉協議会知的発達障害部会会長・当協会理事)

ここ数年、東京大集会では「生活の場の確保」について議論を重ね、昨年度は「くらしの場を選ぶこと」として自分でどこに誰と暮らすのか選択をすることをテーマに実施しました。2025年度はご本人が自分でくらしの場を選ぶことのできる社会を構築することに焦点を当て、各団体から当事者やご家族、支援者による発表とシンポジウムを行いました。

後半のパネルディスカッションでは山下理事長がコーディネーターを務め、都議会議員の皆さまに前半の発表に対する感想や都政の取り組みなどについてお話いただきました。そして、主催団体からの要望をお伝えし、東京の障害福祉の今を改めて知っていただく機会となりました。

★10月31日(金)~12月31日(水)の期間中、オンデマンド配信をご覧になれます。

東社協のホームページはこちら⇒



### 編集 後記

長い夏が終わり、短い秋があつという間に過ぎていつも通り冬がやってきました。2025年も大変お世話になりました。

そんな中、事務局は11月から新しい職員を迎え、5人体制になりました。4つの団体が集まる事務局なので、団体の名称を覚えるだけでも四苦八苦！ガンバ！！新しい年、新しい風が吹いてきそうです。

2026年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。(事務局長 鈴木のり子)



### 一般社団法人東京都知的障害児者生活サポート協会

〒185-0021  
東京都国分寺市南町2-11-14 トミビル3F  
TEL 042-300-1366 FAX 042-300-1367  
URL <https://www.tosapo.jp/>



\*電話受付時間  
10:00~12:00/13:00~17:00 (土日祝除く)